

学 校 便 り



<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp/>

新年度を迎えて

校 長 山崎 久美

今年の春は、暖かい日が続き、校庭の桜は早くも新緑の季節を迎えています。新型コロナウイルスの感染状況は第4波を懸念するほど心配な状態が続いておりますが、今年度は感染症対策を徹底しながら、始業式、入学式を実施しました。

本校では、2年生40名、3年生48名に加え、本日行われた入学式で新入生44名を迎え入れ、生徒132名で新年度が始まります。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして2年生3年生の皆さん、進級おめでとうございます。新たな学校や学年のスタートです。新しい生活や環境にできるだけ早く慣れ、充実した学校生活になることを期待しています。

昨日の始業式で、2、3年生には、社会人の基本として必要とされる力である「挨拶をしよう」という話をしました。この目標を達成するためには、生徒はもちろんですが、教職員もその先頭に立ち手本を見せる必要があります。新年度の職員向けの挨拶の際にも、「生徒の手本となる行動」を私たちの目標としていくことを教職員に伝えました。生徒も教員も互いに挨拶することで、信頼関係を築き、共に成長をする学校を目指してまいります。また、生徒の皆さんには、自分のことだけでなく、友達や相手のことを大切にすらしさを身に付けてほしいことも、始業式の講話で伝えました。他者への理解を深められる生徒の姿も目指していきたくと考えています。

さて、教職員にも異動がありました。小原由嗣副校長をはじめ19名の教職員が転出・退職いたしました。そして新たに11名の教員、3名の行政系職員が着任しました。今年度は、管理職2名、教員50名、養護教諭2名、非常勤教員2名、行政系職員6名、計62名の教職員となります。なお、昨年度まで配属されていた行政系の技能主事の業務につきましては、今年度より環境整備が委託化され、契約業者より2名が配属になりました。

コロナ禍の中、安全・安心な学校づくりを目指し、生徒のもつ力を最大限に伸長するように、今年度も教職員一丸となり教育実践をすすめ、生徒や保護者の皆様が葛飾特別支援学校で学べて良かったと思える学校を築いてまいりたいと考えています。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育に対し御理解と御支援をお願いいたします。

新年度のご挨拶

副校長 今野 昌人

初めまして、4月に都立葛飾特別支援学校に着任しました、今野昌人（このの まさと）です。この3月まで都立しいの木特別支援学校で主幹教諭をしておりました。教務主任として、学校行事や学校運営全般に携わってまいりました。昨年は、新型コロナウイルス感染症対策により様々な行事が中止または延期となりました。ですが、その様な状況でもICT機器を活用し感染症対策を徹底することで実施できた教育活動があります。生徒同士が協力し合い教職員が連携し、知恵を出し合い工夫することで、新たな取り組みも見られました。葛飾特別支援学校でも、感染症予防対策を徹底し協力し知恵を出し合い子供たちの学びを深めたいと思います。

さて、1年生のみなさんは高等部での新たな生活のスタートです。様々な学習を通して進路について考えて行きましょう。2年生のみなさんは、具体的な目標を立て学習活動に取り組んでください。3年生のみなさんには、最終学年として後輩たちに手本となる姿を見せてくれることを期待しています。そして、希望進路の実現に向けてしっかり取り組みましょう。保護者の皆様、1年間どうぞよろしくをお願いいたします。